

## 社長の仕事～その7：社員にすべきこと

社長の仕事として最終の目標とするのは、社員の望みをかなえる事である。社員が会社で働くにあたって望んでいることは何だろうか？個人差はあるが、おそらく、高い収入を得る事、仕事にやりがいがある事、人間関係が良好な事、あたりが上位であろう。その為、経営者としてはこれらを実現させる事に専念すべきである。

一つ目の高い収入を得られるためには、まずは会社の売上や利益を上げる事が前提となる。私が入社したばかりの当社は、売上は下がり続け赤字に転落した時であった。残業も殆どなく世帯主である男子社員でも年収300万円を切っている者もいた。当時独身だった私など年収200万円ほどで、働いている同年代のどの友人よりも低かった。社員達が家を建ててローンを払い、子供を作って大学までやる、それを達成するには年収500万円は必要である。その為会社の業績を上げそれを実現する事が急務であった。今では世帯主はほぼそれを達成し、多い人では年収1千万円に近付こうとしている。

二つ目はやりがいである。良い仕事をやっている、良い仲間とやっている、良い機械を使っている、良いお客を相手にしている、と言った事が大事である。その為なるべく見た目も美しい製品をやりたいし、話題になっているような会社や研究機関を相手にしたい。綺麗な製品であれば一つ余分に作って机の上に飾っておくような人もいるし、地元の工業高校出身者であっても世界的な大企業や研究者の人から褒められたりお礼を言われたりすることは、大きなやりがいに繋がる。

三つ目は人間関係である。正直言って当社はさほど人間関係が良いとは言えないが、それは仕事に一生懸命な事の裏返しであったりもする。自分があまりにも一生懸命に仕事をしているため、それほどやっていない人も見ると攻撃したくなる、といった心情である。人によって多少の差異はやむを得ないし、それによって待遇の差も付けているのだから、もう少し寛大になってくれても良いような気がするのだが、そういう私の方が甘いのかもしれない。親睦の為と思って忘年会や社員旅行にも力を入れているが、全員参加とはいかず、人の気持ちは計り知れない物だと、あらためて思われる。

収入、やりがい、人間関係というこれら3つ以外でも、社員には仕事に直接関係ない事であっても、いろいろな知識や経験を身に付けて欲しいし、仕事に差し支えない範囲で様々な社会活動に参加して欲しいし、健康であって欲しいし、家庭も円満であって欲しい。言い古されている事ではあるが、会社も大きな家族だと思ってやっていきたいものである。

